

社長をはじめとする経営陣による年末年始特別安全衛生パトロールを実施

大日本土木株式会社（社長：馬場 義雄）は、建設業労働災害防止協会が主唱する「建設業年末年始労働災害防止強調期間（12月1日～1月15日）」に合わせて、社長をはじめとする経営陣による全国の工事作業所を対象とした安全衛生パトロールを開始しました。

12月11日（金）に実施した、地整豊岡戸牧T作業所（工事名：豊岡道路戸牧トンネル工事）のパトロールでは、馬場社長がパトロール班長となり、トンネル発破からずり出しの作業工程を巡視し安全管理の徹底を図りました。

パトロール後、馬場社長は「今年度は春先より、新型コロナウイルス感染症予防対策が全国の作業所で行われ、現在も多くの制約を受ける中、様々な創意工夫により工事を継続できております。このような現状を踏まえ、一年の締めくくりを笑顔でおくり、災害の無い明るい新年を迎えるため、安全管理の三原則「①整理整頓 ②事前打合せ ③現場点検」を徹底し災害の撲滅を期するよう、それぞれの持ち場立場で確実な対応をお願いいたします。」と呼びかけました。

当社は引き続き経営陣によるパトロールを実施し、労働災害の発生リスクが高まる年末年始の災害ゼロを目指すとともに、「企業理念：安心をつくり続ける」、「行動指針：誠実に誇りをもって挑戦しよう」を社員一人ひとりが実践し、安全衛生活動に取り組んでまいります。